

1 目指す学校像

令和4年度に100周年を迎える伝統と歴史を受け継ぎ、絶えず変化し続ける社会において、より良い人生をめざし、社会へ貢献する意欲あふれた真に自立した人材の育成を目標とする。また、学業を第一として自らすすんで教養を高めるとともに、知、徳、体のバランスの取れた生徒の育成を目指す。そのため、生徒が本校での学習や生活に喜びと誇りを抱いて、将来の夢や希望を実現できるように、日々の教育活動の改善を図り、一人ひとりの個性や能力を生かす教育を展開し、生徒の満足度及び教職員の充実感が高い学校づくりを推進する。また、全日制課程・定時制課程併置校としての特色を生かすとともに、それぞれの課程の教育内容を共有・尊重し、お互いに協力し合いながら、一体感のある学校づくりを目指す。

2 中期的目標と方策

文武両道を踏まえた学校として、生徒の多様な進路を実現させる指導を充実するとともに、進学においては第一志望校合格を実現する。そのために、生活指導及び授業規律を徹底させ、学習意欲と学習態度の向上を図る。また、第2学年から一般受験で大学へ進学を希望する生徒を対象とした「特別進学クラス」を設置し進学実績の向上を図る。さらに、より良い人生や社会に貢献する意欲あふれた人材を育成するために、部活動、生徒会活動、委員会活動を強化するとともに、学校行事の改善と充実を図り、自主性、行動力及び創造力を育てる。保護者、地域との連携を推進するとともに、積極的に情報の発信を行い、安心感、信頼感の高い学校づくりを推進する。

また、「学校における働き方改革推進プラン」を踏まえて、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を推進する。

(1) 「学業第一」の校風を大切に（学習指導）

①学力の向上

- ・授業の始業及び終業をしっかりと守り、授業時間を大切にし、授業規律を確立する。ICT機器を活用するなど、授業の工夫や改善、充実を進める。また、朝学習や放課後の自習室等の取組を充実させ、自主的・意欲的に学習に取り組む姿勢を育て、家庭学習を含めた学習習慣の定着に努める。
- ・第2学年から一般受験により志望校への進学を目指す「特別進学クラス」を設置し、学力の向上及び進学実績の向上を図る。
- ・教科等において主権者教育を実施し、計画的に政治的教養や政治的活動についての判断力を育成する。
- ・日本の伝統・文化について学習し、日本人としてのアイデンティティーを育てるとともに、東京でのオリンピック・パラリンピック開催を契機として、国際感覚を育成する教育を推進する。

②教育力の組織的な向上

- ・「足立高スタンダード」を活用することで生徒の学習目標を明確にするとともに、授業研究を推進し、「力のつく授業」を実現し、教員の授業力を向上させる。
- ・「進学指導研究校」としての成果とノウハウを活かし、受験に対応した教科指導のさらなる充実を図る。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、アクティブ・ラーニングの視点に立った学習指導の充実を図る。
- ・「信頼される学校」の実現を目指して、教員の研修を充実するとともに、OJTをとおして、教員の人材育成を進める。

(2) 社会の一員としてふさわしい生徒の育成（生活指導）

①授業態度、身だしなみ、遅刻防止等の生活指導の徹底と健康づくり

- ・学校生活のルールやマナーを遵守する態度を育て、規範意識を向上させ、落ち着いた校風の維持を図る。
- ・進んで挨拶する習慣づくりを推進し、いじめや暴力などの根絶を図り、授業規律を維持する。
- ・保健指導をとおして、睡眠、食事や運動などの生活習慣を把握し、改善する力を育成する。さらに、自ら健康を維持増進する能力や態度を身に付けるとともに、遅刻指導を実施し、遅刻や欠席を減少させる。
- ・自転車での通学者が8割を超える本校において、自転車乗車時のルールやマナーの遵守を徹底して交通事故ゼロを目指すとともに、安全・防災教育の充実を図る。

②部活動、生徒会活動、委員会活動の活性化と学校行事の充実

- ・部活動指導員や部活動重点配分予算等を活用し、部活動における諸条件を整備し、部活動加入率及び部活動実績の向上を目指すとともに、生徒の心身の健康を増進し、学校への帰属意識を高める。
- ・生徒会活動や委員会活動の活性化を図り、生徒の自主性、行動力、創造性を育成する。
- ・学校行事に積極的に取り組むこと及び生徒・教員ともに地域の行事へ参加し、地域との交流を深めること

をとおして、達成感や自己有用感を醸成する。

(3) 多様な進路希望の実現と志望校進学への支援体制の整備

①キャリア教育の推進

- ・キャリア教育や進路学習をとおして、自己のキャリア形成の方向性を見出す力の育成を図る。
- ・3年間を見通した系統的・継続的な進路指導計画をもとに、外部人材との連携を図りながら、キャリア教育を推進する。また、教科「人間と社会」の学習をとおして、道徳教育とキャリア教育を推進する。
- ・学習や知識の獲得を図るとともに、人間としての在り方や生き方への思考を深めるために、読書活動を推進し、図書館の活用を推進する。

②進学指導体制の強化

- ・生徒の多様な進路希望を実現するために、生徒一人一人の希望に応じた進路指導を実施する。
- ・大学等への進学実績を向上させるために「進学指導研究校」としての成果とノウハウを活かし、組織的な進学指導のさらなる充実を図る。
- ・週休日や長期休業日の講習等、予備校との連携による講習、「チューター」の導入による放課後自習室の充実など、生徒の進学を支援する取組を推進する。
- ・個人面談と三者面談をとおして目標設定と進路実現を確実にする。

(4) 募集対策（地域に開かれた学校づくりの推進）

①外部機関との連携の強化

- ・生徒会活動や部活動を通じて、地域の行事等に積極的に参加し、生徒と地域との交流を深める。また、学校の教育活動の推進のために、PTAや同窓会と連携を深め、支援や協力を依頼する。
- ・学校運営連絡協議会による学校評価を活用し、学校経営の改善に取り組む。

②広報活動の充実と募集対策の推進

- ・本校の特色や生徒の姿を積極的に発信し、意欲の高い生徒の確保に努める。そのために、学校見学・説明会、授業公開、広報紙の配布、ホームページの充実などを図るとともに、中学校への出前授業や進路講演会など中学校との交流を推進する。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学力向上の推進

- ①授業を大切にす4原則（始業時間の厳守・終業時間の厳守・授業規律の確保・授業内容の工夫）を遵守した「力の付く授業」を実践し、一人一人の学力を向上させる。
- ②教科指導と連動した朝学習を全学年で実施することにより、積極的な学習態度の育成と学力の向上を図る。
- ③予習や復習を前提とした授業を実践したり日々の課題や週末の課題を生徒に課したりして、自主学習時間を増加させるとともに、週単位でのタイムマネジメント能力を育成する。また、小テストを実施するなどして、知識量の確保と学力の定着を図る。
- ④学カスタンダードを設定し、教員の授業力向上と授業実践によって学力向上を図る。
- ⑤GTEC、英語検定、漢字検定等の各種検定に積極的に挑戦する態度を醸成し、進路活動に役立てるとともに、学習の動機付けのひとつとする。
- ⑥日本の伝統・文化について学習するとともに、オリンピック・パラリンピックやその参加国の特色等について学習する。
- ⑦教科等において主権者教育を実施し、計画的に政治的教養や政治的活動についての判断力を育成する。
- ⑧生徒の学力向上を図るために、平日放課後や土曜日等に計画的に講習を設定する。
- ⑨第3学年の1月は進路別の特別時間割による授業を実施し、進路実現に向けた効果的な学習を行う。

【数値目標】・学力調査における目標到達度 85%

・自主学習時間 一日の平均学習時間1時間以上の生徒の割合 1・2年生 30%以上
3年生 60%以上

(2) 教育力の組織的向上

- ①進学指導や面談指導などについての教員研修を充実させ、学校全体の教育力を向上させる。
- ②令和4年度以降の本校教育課程について、導入後のより効果的な運営について検討を進める。
- ③各教科で次期学習指導要領の学習内容の研究を進め、「主体的対話的な深い学び」を実現するために、知識・技能を基盤とした思考力・判断力・表現力等の育成と、学びに向かう力や主体性を高める授業を実践する。
- ④各教科等で公開の研究授業及び研究協議会を行うとともに、本校で設定する授業見学期間において相互に授業を参観したり、他校の授業を見学することを通して、教科指導力の向上及び授業の改善を図る。

- ⑤本校で作成した「大学入学共通テスト・新傾向問題の分析」レポートをもとに、教科及び全教員で共通理解を図るとともに、教科指導に活かす。さらに新傾向問題の分析を継続する。
- ⑥主任教諭が中心となり組織的なOJTを通して、若手人材の育成を図る。
- ⑦ICT機器の活用を推進し、効果的な理解の促進や生徒の興味・関心を高める授業を展開する。オンライン授業、BYOD、生徒端末活用等について実施、または実施に向けての準備を行う。
- ⑧通級指導が必要な生徒に対して、都の指導に基づき組織的に適正な通級指導を実施する。
- ⑨定期的に授業評価を行い、授業改善に活用する。

- 【数値目標】・授業に対する生徒の肯定的評価 90%以上
- ・教員研修の計画的実施 教育課程への位置づけ年5回
 - ・ICTを活用した授業の実施（観察授業で1回以上） 全教員の85%以上
 - ・相互の授業見学の実施 一人年間2回以上

(3) キャリア教育の推進

- ①2学年総合学習におけるキャリア教育を中核とし、キャリア教育を推進する。
- ②進路体験発表、卒業生講話、同窓生からの講話を充実させ、生徒のキャリア意識を啓発する。
- ③図書委員会を活性化し、読書活動の推進と図書館の活用を図り、読書習慣を確立する。
- ④教科「人間と社会」による道徳教育とキャリア教育を推進する。
- ⑤「キャリアパスポート」を活用し、系統的なキャリア教育の実現を推進する。

- 【数値目標】・進路実現率 95%以上 ・進路未決定率 3.0%未満（進学準備者は除く）
- ・中途退学率 0%
 - ・未読者率 25%以内

(4) 進学指導体制の強化

- ①個々の生徒の進路希望に応じたオーダーメイドの進路指導を展開するために、年2回面接週間を設定し、外部模擬試験等の結果を活用した担任による個別面接を実施する。また、3年間の進路希望及び学習状況を記録した「カルテ」や進路第一希望等を学校へ届け出る「マニフェスト」を活用し、目標設定を明確にさせ進路実現を確実なものにする。
- ②面接週間終了後に学年ごとにねらいをもった「進路検討会」を開催し、個々の生徒の学習状況や進路希望等を教員間で共有し、生徒の学習支援に活用する。
- ③2学年より特別進学クラスを設置し、効果的な指導の実践により上位大学を目指す生徒の学習を支援する。
- ④参加希望者による「勉強合宿」を実施し、進学を目指す生徒の学習を支援する。
- ⑤就職希望、公務員希望の生徒への対策指導を充実させ、進路実現を図る。
- ⑥土曜補習、予備校によるライブ授業を活性化する。
- ⑦長期休業中等の講習に生徒が参加しやすい環境を整え、大学入学共通テスト、大学受験対策などを実施する。
- ⑧大学生等を「チューター」として自習室に配置し、放課後の学習を支援する。

- 【数値目標】・大学入学共通テスト受験者数 180名以上
- ・大学合格者数 国公立早慶5名、GMARCH10名、日東駒専30名
 - ・大学・短大進学率 65%
 - ・公務員希望者の合格率 50%
 - ・土曜補習の参加者数 延べ300名以上
 - ・ライブ授業の受講者数 延べ1000名以上
 - ・長期休業中の講習 大学受験用3年生対象40講座以上
 - 1、2年生向けの講座40講座以上

(5) 生活指導の更なる徹底

- ①遅刻指導、頭髪・服装指導を継続し、落ち着いた校風を維持する。また、朝の登校時での声掛けを継続的にを行い、進んで挨拶する習慣を身に付ける。
- ②自転車事故防止（雨天時のレインウェアの着用等）の指導を徹底し、交通事故を0件とする。
- ③美化委員会を中心とした校内美化活動などをおして、美化意識を醸成し、美化活動を徹底する。
- ④心と体の健康を保つ指導や自尊意識を高める取組をおして、生命尊重教育の実践を推進する。
- ⑤いじめに関するアンケートを年間3回実施する。学校いじめ対策委員会を活用し、いじめの防止を図る。また、暴力行為・体罰を根絶し、安心・安全な学校を維持する。
- ⑥薬物乱用防止、セーフティ教室による安全教育と宿泊防災訓練等による防災教育の充実を図る。
- ⑦体育科の授業や運動部活動において、体力の向上を図るとともに、足立保健所等と連携し、健康指導、保健教育を充実させ、健康増進を図る。

- ⑧スクールカウンセラーと連携し、教育相談委員会を年10回開催し、特別支援教育・教育相談の充実を図る。
- ⑨新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組を、都のガイドラインに基づいて確実に実施し、安心・安全な教育環境を維持する。

【数値目標】 ・遅刻率 各学期の指導対象者数5%以下 ・交通事故 0件
 ・宿泊防災訓練、避難訓練 年4回
 ・外部評価「生徒の頭髪・服装など身だしなみ」への肯定的評価 90%
 ・外部評価「通学マナー」への肯定的評価 70%

(6) 部活動・特別活動の活性化

- ①体育祭・文化祭・合唱祭などの企画・運営をとおして、生徒の主体性を育成するとともに、学校行事の充実を図る。
- ②生徒の自主的な活動を支援することにより、生徒会活動を活性化する。
- ③部活動指導員の活用も含め、部活動を活性化すると同時に、学業との両立を図り、文武両道を進める。
- ④体育の授業と連携しながら、体育的行事や部活動を通して生徒の体力の向上に取り組む。
- ⑤式典の適正な実施にむけて、生徒の指導を行う。

【数値目標】 ・部活動参加率 85%以上
 ・「部活動・学校行事への積極的取組」に対する肯定的評価 90%以上

(7) 外部との連携の推進

- ①教科「人間と社会」や部活動による地域活動への参加を推進する。
- ②中学校・高校の教員や生徒の交流をとおして、学習や特別活動における中高連携・高大連携を推進する。
- ③PTA・同窓会との連携を図ることによって、生徒の支援体制を強化する。
- ④令和4年度に開催する創立100周年記念式典に向け、「足立高校創立100周年記念行事実行委員会」を設置し、PTA・同窓会と連携を図り準備を進める。
- ⑤学校運営連絡協議会や外部評価を活用し、学校の教育改善を進める。
- ⑥足立区教育委員会等との連携を深める。

【数値目標】 ・外部評価「開かれた学校」への肯定的評価 65%
 ・外部評価「地域社会への貢献」への肯定的評価 65%
 ・外部評価「地域社会への防災・ボランティア貢献」への肯定的評価 65%

(8) 広報活動の充実と募集対策

- ①ホームページのリニューアルを行い、さらに活用を推進する。また、中学校や学習塾への訪問等の積極的な広報活動を推進する。
- ②学校説明会・見学会、授業公開を充実させるとともに、webも効果的に活用し「開かれた学校」を推進する。
- ③広報紙、ポスター、学校案内等を配布し、中学生・保護者の本校教育活動への理解を促し、受検希望者数を増加させる。

【数値目標】 ・HP 更新回数100回以上(全日) アクセス数12万件以上(全・定)
 ・学校見学会、説明会、授業公開 参加者数延べ3000人以上
 ・受検希望者数 前年度と同等

(9) ライフ・ワーク・バランスの推進

各種会議の効率的な実施や、計画的な仕事の進め方による業務の効率化を図り、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を推進する。

(10) 適正な事務処理と経営企画機能の発揮

- ①個人情報保護の徹底を図り、事故ゼロとする。
- ②適正な予算執行を行うとともに、学校経営計画及び予算編成指針に基づいた効率的な予算立案を行う。
- ③就学支援金及び奨学のための給付金について保護者への周知を徹底し、適正に申請を処理するとともに、授業料や学校積立金等の徴収について適切に実施する。
- ④各分掌事務を適正・迅速に執行する。
- ⑤起案に基づく適正な意思決定の徹底を図る。
- ⑥経営企画機能を発揮し、学校の経営力を向上させる。
- ⑦図書館機能を充実することによって、生徒の読書習慣を定着する。